

学校の背景 教育理念

1. 学校の背景

本校は、愛媛県北東部芸予半島に位置し、平成17年越智郡11ヵ町村、芸予諸島の南半分の島嶼部と合併し、人口16万人規模の愛媛県今治市にある唯一の医師会立看護専門学校である。高等課程准看護科及び専門課程第一看護学科(3年課程全日制)、専門課程第二看護学科(2年課程全日制)を併設しており、地域住民の健康を守る看護師等の養成を担っている。

今治市においても急激な高齢・少子が進捗するなか、平野・山間・島嶼部などに生活する地域住民の医療や看護への期待はますます大きくなっている。社会の変化や多様なニーズに応えることのできる看護師を育成する責務がある。

2. 教育理念

看護学は人間と生命の尊厳と、権利の尊重を基盤にした人間の健康にかかわる実践的学問である。

看護の対象とする人間は身体面、心理面、社会面も含め、異なる特性をもつ一個統一体、すなわち全人間としてとらえる。

看護とはさまざまな健康水準にあるすべての人々に対して(その人々が身体的、心理的、社会的な統一体として社会に存在し、環境と相互作用しながら生活しているという認識にたつて)その人々が自らの健康水準を保持・増進、回復できるように(あるいはその人らしく人生を全うできるように)ニーズの充足を援助する過程である。

このように看護学は対象となる人がそれまで持ち続けていた生活リズム(健康な状態)にまで整える必要がある。また、顕在的、潜在的な健康問題に対する人々への応答についての診断、対応という独自の機能もある。従って人々が健康増進するために、保健・医療・福祉が十分連携機能しなければならない。

このような地域社会での看護の責務を果たすため、看護専門職業人として、豊かな人間性と科学的思考能力をもった看護実践者を育成する。

3. 教育目的

本校は、看護師に必要な専門的知識、技術の教育を行うと共に教養を高め、豊かな人間性を培い、地域社会に幅広く貢献し得る看護師を育成する。

4. 教育目標

(専門課程第一看護学科)

- 1) 看護師としての専門的知識、技術及び態度を修得し、実践に応用できる判断能力、問題解決能力及び指導能力を養う。
- 2) 豊かな感性を持つ、調和のとれた社会人を育成する。
- 3) 社会の変化に対応し、地域保健、医療、福祉に貢献でき、調整する能力を養う。
- 4) 専門職業人としての意識を持ち、自己研鑽に努め、研究的態度を養う。

(専門課程第二看護学科)

- 1) 人間を統合された存在として、幅広くとらえ人々の健康と生活を自然・社会・文化的環境との相互作用等の観点から理解する能力を養う。
- 2) 人々の多様な価値観を認識し専門職業人としての共感的態度及び理論に基づいた看護を実践できるとともに、最新知識・技術を自ら学び続ける基礎的能力を養う。
- 3) 准看護師教育で習得した基礎知識・技術・態度を更に深め、人々の健康上の課題に対応するため科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎能力を養う。
- 4) 健康の保持増進、疾病予防と治療、リハビリテーション、終末期など、健康や障害の状態に応じた看護を実践できるための基礎的能力を養う。
- 5) 健康・医療・福祉制度と他職種の役割を理解し、チーム医療を実践するとともに人々が社会資源を活用できるよう、それらを調整するための基礎的能力を養う。

5. 期待する卒業生像

- 1) 対象の健康状態、場に応じた問題解決ができるための知識や技術を身につける。
- 2) 保健・医療・福祉チームの一員として、看護の役割が果たせる基礎的能力を身につける。
- 3) 自己を理解し、他者を尊重した上で人間関係を深めることができる。
- 4) 豊かな感性を持ち、人間を幅広く理解できる。
- 5) 社会(国内外)の動きに関心を持ち、自己継続的に学習ができる。